

研修報告

総務民生常任委員会

# 宮城県丸森町を視察

まるもり



去る11月9日（火）、全国で3番目に市場化テストを導入し、出張所窓口業務を民間事業者に委託した状況について、視察してまいりました。

## 目的

- 1 町が実施している公共サービスに適切な競争原理を働かせることにより、質の向上と経費の削減を図る。
- 2 職員の更なる意識改革。
- 3 町と民間事業者が協力できる体制を作ることにより、官民協働のまちづくりを促進する。

## 導入の経緯

- 平成19年7月 市場化テスト導入プロジェクトチーム設置要項制定
- 平成19年11月 市場化テスト導入指針決定
- 平成20年7月 公共サービス改革の推進に関する条例、同施行規則公布
- 平成21年6月 市場化テスト評価委員会設置要綱制定
- 平成21年7月 官民競争入札・民間競争入札制度の実施に関する方針の公表
- 平成21年11月 まちづくりセンター窓口業務民間競争入札実施要項の公表
- 平成21年12月 入札・落札者の公表
- 平成22年4月 窓口業務契約締結について議決
- 平成22年4月 出張所（まちづくりセンター）の窓口業務をそれぞれの落札者である地区の住民組織に委託
- 委託期間 平成22年4月1日～平成25年3月31日
- 委託業務 戸籍・住民票・税務証明等の交付請求の受付及び引渡し業務



研修風景

地域のことは、その地域住民により、よりよい地域づくりを行っていくということ、住民自治組織をつくり、まちづくりセンターを活動拠点として、活動しています。

業務委託後、半年が過ぎましたが、委託前のサービスが保たれており、町民からの不満等はほとんどないということでした。また、委託したことにより、指定管理を含め、年間2,700万円ほどの経費削減が見込まれるとのことでした。

本町においても、2つの支所（桂支所・七会支所）があります。今後、早急に支所機能のありかたを考えたかなければならないと感じました。

## 丸森町の概要

人口 15,937人  
世帯数 5,067世帯  
面積 273.34km<sup>2</sup>

「シルクとミルクの町」として養蚕と酪農では、かつて県内一の生産量を誇っており、現在でも酪農生産量は、県内トップクラスを維持している。



役場前にて



研修風景

平成14年度に立木、送橋、水本、上郷の4つの廃校となった小学校を、地域の宝として残すべく、跡地利用計画づくりを東北芸術工科大学に委託しました。

町としても学校跡地利用検討委員会を立ち上げ、全国の事例を調べながら活用方法を検討し、地域住民と協議を重ねた結果、芸術・自然・文化をテーマにした「おしえて—まなぶ」交流学习活動「あたらしいがつこう」が平成15年4月より開始となりました。（この事業は、生涯学習まちづくりモデル支援事業という国庫補助であり、申請等の事務は、すべて委託先の東北芸術工科大学が行いました。）

去る10月13日（水）、廃校の利活用方法の調査のため、視察してまいりました。

研修報告 教育産業常任委員会

# 山形県朝日町を視察

あさひ



内容としては、巡回映写会・納豆づくり体験・夢見る音楽会・イブセン先生を囲む4校合同研修会などを開催しました。しかし、開始当初は、盛り上がりつつも17年度で終了となりました。（平成18年度からは、山形県全体での廃校を利用しての東北芸術工科大学による事業となり、町では、立木小学校が利用されました。）

今現在は、平成21年に「朝日町学校跡地活用計画」を策定し、地域の方や芸術家にアトリエとして貸しています。

**（これからの課題）**  
活用計画の中で、「施設の解体を行い、売却、貸付などを行う。」と謳ってはいるものの、解体するには、莫大な費用がかかる上、売却するにも立地条件が悪く、危惧されていました。

## 朝日町の概要

人口 8,123人  
世帯数 2,519世帯  
面積 196.73 km<sup>2</sup>

キャッチフレーズが「りんごとワインの里」  
地元のぶどうを原料にしたローカル色豊かなワインの醸造や全国的に最も優秀な品質のりんご「無袋ふじ」の生産地として名を馳せている。



役場前で

朝日町では、芸術・自然・文化をテーマにした廃校の利活用ですが、全国では、医療施設や宿泊施設にと様々な利活用計画があります。

本町においても平成23年度には、10校の小学校が5校になります。公共施設の効率的な活用を考え、地域住民に何が一番いいかを検討していかなければならないことだと考えられます。

この研修において、廃校の利活用方法を考える上で、大変参考になり、委員の資質の向上となる研修となりました。



旧立木小学校にて